

当社取締役会の実効性に関する評価の実施及び結果の概要について

2026年7月
株式会社アカツキ

2026年4月に、取締役会の機能の一層の向上及び企業価値の向上を図るべく、現行の取締役及び監査役が出席し開催された2026年2月までの取締役会の 実効性の評価を実施し、その結果が「まとまりましたので」以下のとおり概要を報告いたします。

1. 評価方法と実施概要

評価対象： 取締役及び監査役が出席し開催された当社取締役会（2025年3月から2026年2月）を対象

評価方法： 全ての取締役及び監査役を対象として（2026年2月末時点在任）を対象としたインターネットを利用した記名式アンケートを実施し、その結果の分析・評価を行った

実施期間： 2026年4月

アンケート概要： 「取締役会の構成」「取締役会の運営」「取締役会の議案」「取締役会の実効性評価」に関する設問及び自由記載によるアンケートを実施した

<設問内容>

- ・取締役会の構成に関する設問（6問）
- ・取締役会の運営に関する設問（9問）
- ・取締役会の議案に関する設問（13問）
- ・取締役会の実効性に関する設問（8問）

2. 分析・評価結果の概要

当社で実施した上記の評価アンケートに対する回答では、36の設問の中で32項目については全ての回答が議論/審議が十分もしくは適切に議論されているとの結果になりました。一方、4項目については一部で議論/審議が十分ではないとの回答がありましたが、それらの項目においても70%以上の回答者が議論/審議が十分もしくは適切に議論されているとの評価となっております。これらの結果を踏まえ、当社取締役会は十分に機能し、実効性については概ね確保されていると判断いたしました。ただし、前述の議論/審議が十分にされてないと回答があった以下の項目については、取締役会の更なる実効性向上に向けた今後の取組事項として認識しております。

- ・取締役会構成員の多様性（取締役会の構成に関する設問）

- ・代表取締役の後継者の計画に関する議論および監督（取締役会の議案に関する設問）
- ・経営陣幹部の選任および解任に関する議論（取締役会の議案に関する設問）
- ・内部監査部門との連携（取締役会の実効性に関する設問）

3. 実効性の向上に向けた今後の取組みについて

本アンケートの分析・評価結果を踏まえ、概ね取締役会は十分に機能し、実効性は確保されていると判断しております。議論が十分にされていないとの回答があった項目についてさらに取組みを強化し、取締役会の更なる高い実効性を確保およびコーポレートガバナンスの強化と企業価値の向上に努めてまいります。

以上